

通所系サービス事業所における感染対策

⑦リハビリ時の感染対策

(感染対策Q&A Vol.1-3・1-6・1-7対応)

地域理学療法学会COVID-19特別チーム 通所班 感染対策グループ

浅田孝一、足立斉志、阿部将之、©北川智美、原島亮治、堀越一孝、脇田正徳

リハビリ前の注意点

- 健康状態を把握するためには、栄養状態の把握や食事摂取状況、定期的な体重測定、バイタルサイン（体温、脈拍、血圧等）測定等が有効。
- 家族や他サービス利用中に体調不良者、感染疑い者がいないかを確認する。



個別リハビリの注意点

- 職員、利用者ともに**手指衛生**の励行を徹底する。特に個別リハビリなど利用者と接触する前後は、職員の手指衛生を徹底する。
- 可能な限り**同じ時間帯、同じ場所での実施人数を減らす**。
- 清掃を徹底し、共有物(手すり等)やリハビリ機器（マシン、平行棒、エルゴメーターのグリップなど）については必要に応じて**消毒**を行う。

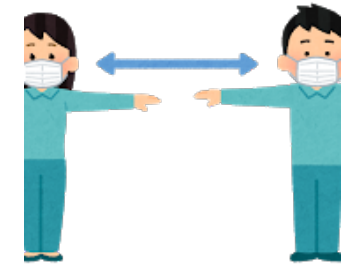


屋外リハビリ時の注意点



- 3密を避ける・フィジカルディスタンシングをとることを意識して実施する。
- 人が密集した時間・場所を避けて、外出時間・場所を設定する。
- セラピスト・利用者ともにマスクを着用し、話しかける際は対面を避ける。

集団リハビリ時の注意点



- できるだけ集団での実施を避けることが最善。
- やむを得ず実施する際には3密を避ける・フィジカルディスタンスをとることを意識し、避けられない場合は中止する。
- 同じ場所で一度に行う人数を制限する。
- 利用者同士は 2m(同じ方向を向く場合は最低1m)の間隔を保つ。
- 声を出す機会を最小限にし、声を出す場合はマスク着用やパーテーション設置を行う。

リハビリ時の環境整備

- ・ 開窓による換気は **2方向以上**で行い、風の流れることができるように各施設状況に合わせて工夫が必要。可能であれば**定期的な換気(1時間に1回程度、1回10分程度)**を行うことが望ましい。
- ・ 窓がない場合は、**サーキュレーター**などを設置して換気を図る。



文献

- 厚生労働省 高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版
<https://www.mhlw.go.jp/content/000500646.pdf>
(入手日付2020.3)
- 日本環境感染学会 高齢者介護施設における感染対策第 1 版
http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/koreisyakaigoshisetsu_kansentaisaku.pdf
(入手日付2020.4.3)
- 厚生労働省 社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について (その2)
<https://www.mhlw.go.jp/content/000619845.pdf>
(入手日付2020.4.7)

- スポーツ庁 安全に運動・スポーツをするポイントは？ 資料1
https://www.mext.go.jp/sports/content/20200522-spt_sseisaku01-000006777_2.pdf
(入手日付2020.5.22)
- 日本環境感染学会 高齢者福祉施設従事者のための Q&A (第2版)
http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/koureisyashisetsu_Q%EF%BC%86A_2.pdf
(入手日付2020.5.26)
- 一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会, 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたリハを提供する病院・施設における注意点 (第一報)
https://www.rehakyoh.jp/wp/wp-content/uploads/2020/05/20200504_2.pdf
(入手日付2020.5.4)
- 日本環境感染学会 医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド第3版
http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/COVID-19_taioguide3.pdf
(入手日付2020.5.7)